

第3回 海津市総合計画審議会
議事要旨

日 時：令和3年11月19日（金）10：00～
場 所：海津市役所 東館4階 災害対策本部室

○出席者

委員：伊藤義美、伊藤亮一、塚本明日香、森 利樹、伊藤清春、児玉 泉、田中一男
森 清実、飯田かゆ美、高木久子、近澤美佳子、國島英樹、宮脇和義
事務局：寺村部長、柴澤参事、近藤課長、毛利課長補佐、岩田係長
（委託業者：（株）名豊 小池、大川）

○欠席者

委員：岡田 均、伊藤嘉保

○議事内容

1. 事務局からの報告

- （1）第2回審議会での意見に対する対応について
事務局より説明。

2. 議事

- （1）基本計画（案）について
事務局より資料1、資料2、資料3について説明。
質疑応答は以下のとおり。

委 員：基本目標1-3は海津イレブンの重点施策だと思うが、「子育て支援の充実」が重点施策なのかどうかわかりにくい。「子育て支援の充実」に「重点施策」と明記すれば、わかりやすく、市民の皆さんも注意して熟読していただけたと思う。同じように、他の重点施策にも「重点施策」と表記するとよりわかりやすい。

文中に「関係機関と調整、協議、連携していく」と表記してある。「関係機関」のイメージが湧かないので、具体的な団体名等を入れるとわかりやすい。例えば、交通安全であれば「海津警察署などと連携」という表記だとイメージが湧く。今後、パブリックコメントをしていく中で、市民の方が目を通されたときに、具体的な団体名を入れるとわかりやすい。

「安全・安心」「安心・安全」という表記について、「安全で危険をなくし、その後に安心がくる」というのが基本。国の文書でも「安全・安心」という表記がされている。「安全・安心」で統一すべきではないか。

事務局：ご意見を参考に修正する。

委員：イメージイラストも入り、デザインもよく、わかりやすくなった。

「基本方針」、「現状」、「課題」、「施策の方向」と整理してあるが、特に「課題」のところでは、課題の指摘にとどまらず、必要な対策の方向性まで書かれている部分が多い。これだけ対応策も書いてあるので、「課題と対策」「課題と対応」というように少し項目名を変えたほうが、内容に則して見やすくなると思う。

事務局：ご意見を参考に検討する。

委員：5 ページにSDGsの説明があるが、表記の綴りをつなげずに、必要なところに半角空けるとわかりやすい。

32、33 ページ、35 ページに表があるが、和暦と西暦の併記について、西暦の位置を統一できれば統一したほうがよい。現状値・目標値の「R2 (2020)」の表記は、例えば「令和2 (2020) 年」というように省略せずに記載したほうがよい。

「年」と「年度」の両方の表記がある。それぞれのデータによるものだと思うが、確認してほしい。

事務局：成果指標の「R2 (2020)」は、「令和2 (2020) 年」という表記に統一する。統計データは、元のデータに合わせて「年」「年度」の表記をしている。

委員：38 ページの「現状」の2 つ目の、「入所人員数」という表現は馴染まない。こども園なので、「入園人数」「入園児数」という表記のほうがふさわしい。

委員：現状値と目標値を挙げているが、目標値が現状値よりも低く設定されている項目があるので、一言説明を入れていただけるとよいと思う。

事務局：担当課に確認し、理由があれば追記するなど検討する。

委員：可能であれば、表について本文で触れるとよりわかりやすい。

79 ページに「個性と創造性を培う」とあり、「個性」については触れているが、「創造性」を培うことについては触れていない。「創造性」についても触れるとよいと思う。

80、81 ページの「学校に行くのが楽しいと思う児童生徒」のデータは、海津市のデータがあればそれを示すとよいと思う。

事務局：データは海津市の数値。

委員：「児童・生徒」「児童生徒」、また「小・中学校」「小中学校」等の表記が混在している。どちらも「・」はいらないと思う。表記の統一を。

事務局：ご指摘のように修正する。

委員：113 ページの「男女共同」という表現は、個人的にはあまり好ましくないと感じる。「共同して何かする」というよりも、「同じように登用、参画していただく」という量的なもので、質を問うものではない。例えば、「ジェンダー平等」というような表現がSDGs にでてくるが、そのような言葉に変えることができる部分がないか検討してほしい。県や国との整合性もあるが、「男女共同参画」という表現だと、男性が先になっていて平等感がないように感じる。「ジェンダー平等」「ジェンダー均等」等の表現もあるので検討してほしい。

委員：基本目標 2 に関して、42 ページに「基幹相談支援センター運営の充実」とあり、その次のページに相談件数の令和 8 年の目標値が 300 件と設定されている。私の認識では、この基幹相談支援センターは総合的な相談機関であり、現在、市でその役割を果たしている福祉課等にそのような動きがあるのか、または、このようなセンターが近隣に立ち上げられる見通しがあってこの目標がたてられ、目標値が上がっているのか。

事務局：基幹相談支援センターについては、義務化されており、市で立ち上げなくてはいけない。今年度から動き出している。令和 2 年はないため実績はなく、令和 8 年の目標値のみを設定している。

委員：基幹相談支援センターが新しく始まったことであれば、42 ページの内容説明に、何年度から始まったのかを記載すると状況がわかりやすいと思う。

事務局：記載する。

委員：文字の色が、黄色に近い橙色の文字は見にくく感じるので、色を濃くするなど見やすくしてほしい。

事務局：文字の色については、プリンターや印刷の都合もあるため注意して進める。

（2）パブリックコメントについて

事務局より説明。

質疑応答は以下のとおり。

委員：今日出た意見を全て取り入れるのは難しいと思うので、事務局で検討して一番いい形で反映してもらえるといいと思う。

委員：「市民の声の反映」ということに関して、ワークショップやアンケート結果も入れているので、可能であれば、「市民のご意見をこのように吸い上げて、この提案はこの施策に反映した」というように明記するとよいと思う。市民に協力していただいた調査が、実際の計画に反映されていることを可視化できると効果的だと思う。

事務局：検討する。

（閉会）